

# 令和4年度 自己評価表

愛媛県立松山商業高等学校（全日制）  
学校番号 (25)

教育方針	個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求する人間の育成に努め、新しい職業観のもとに豊かな情操を身に付け、勤労と責任を重んずる資質を養い、国家社会の有為な形成者として創造性と実践力に富む心身ともに健全な商業人の育成を期する。	重点目標	地域社会に根ざした商業教育の推進 —地域の持続的発展を担う人材の育成—
------	---	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
生徒指導	学校生活の基本の徹底	さわやかな「挨拶」ができる生徒100%を目指す。 A:95% B:90% C:85% D:80% E:80%未満	B	生徒96%、教職員87%、保護者92%がさわやかな「挨拶」ができていると回答している。	挨拶の大切さを理解させ、生徒からの呼びかけで自主的な挨拶できる生徒を増やす。
		端正な身だしなみができる生徒100%を目指す。 A:95% B:90% C:85% D:80% E:80%未満	A	生徒の98%が、高校生らしい身だしなみができていると回答している。	今後も高校生らしい身だしなみができるように継続して指導を続ける。
		皆勤率50%以上、年間出席率99.0%以上を目指す。 A:50%, 99% B:45%, 98% C:40%, 97% D:35%, 96% E:35%未満, 96%未満	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、健康面に不安を感じる生徒もいたが、皆勤率62.1%、年間出席率98.8%で目標もほぼ達成できている。	生徒の不安にも寄り添いながら、心身ともに健康な生徒を育成する。
		清掃の意味を理解し、積極的に取り組む生徒100%を目指す。 A:95% B:90% C:85% D:80% E:80%未満	B	生徒の96%が真面目に取り組んでいると回答しているが、教職員の評価は75%であった。教員の評価は昨年度に比べ6%上昇しているが、依然生徒との評価に開きがある。	衛生環境を守る必要性の観点から、清掃の意味を考えさせ具体的な清掃方法を身に付け、率先して清掃活動に取り組む生徒を増やす。
	交通ルール・マナーの遵守	自転車のヘルメット着用率100%、重大交通事故0件を目指す。 A:100% B:95% C:90% D:85% E:85%未満	B	98%の生徒が通学時ヘルメットをきちんと着用していると回答している。重大交通事故は0件であったが、車との接触事故や自転車での自損事故など軽微な交通事故は多数発生した。	自分の命は自分で守ることを理解させ、交通ルールとマナーの厳守を徹底する。
豊かな人間性と思いやり	いじめ発生件数0件、または、早期発見・早期対応に努め、早期解決100%を目指す。	B	教育相談課へ友人関係の相談は複数件あったが、人権教育課のいじめアンケートでは生徒からの申告はなかった。友人関係の相談に対しては、担任や学年団などで連携して適切に対応している。	教職員全員が生徒の声をしっかり受け止める姿勢を示すことで、相談しやすい体制を作る。	
特別活動	地域との交流、ボランティア活動等に参加する生徒100%を目指す。 A:90% B:80% C:70% D:60% E:60%未満	A	96.6%の生徒が積極的に地域との交流活動やボランティア活動を行った。	地域への貢献やボランティア活動の意義や大切を理解させ、積極的に取り組む生徒を増やす。	
	学校行事の活性化	学校行事に主体的に取り組む生徒100%を目指す。 A:95% B:90% C:85% D:80% E:80%未満	B	生徒94%、保護者98%、教職員100%が主体的に取り組んでいると回答しており、コロナ禍ではあるが工夫して活気ある学校行事を行うことができた。	状況に応じて実施できる学校行事を考えることで、生徒達がさらに主体的に取り組めるよう工夫する。
	部活動の活性化	四国大会出場12部以上、全国大会出場10部以上を目指す。 A:12部, 10部 B:10部, 8部 C:8部, 6部 D:6部, 4部 E:6部, 4部未満	A	コロナ禍ではあったが、15の部や個人が予選を勝ち抜き四国大会に出場し、10の部や個人が全国大会に出場した。	今後も生徒の実態に応じた部活動指導を行い、部活動を活性化させる。
学習指導	乳幼児、高齢者、地域の方々との交流活動における充実感100%を目指す。 A:100% B:95% C:90% D:85% E:85%未満	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、乳幼児や高齢者との交流活動は実施できなかった。	交流活動が実施できるようになれば、さらに主体的に取り組めるように事前に意義を理解させるなど工夫する。	
	体験活動の充実	ビジネス実習・現場実習・1000日実習における達成感100%を目指す。 A:100% B:95% C:90% D:85% E:85%未満	B	ビジネス実習は実施したが、現場実習はインフルエンザ感染拡大防止のため中止した。1000日実習については実施することができた。98.3%の生徒が達成感を感じたと答えた。	昨年度よりも実施できた実習が多くなった。学んだことが学校生活や進路実現に生かせるように指導方法を工夫する。
		本校と協働活動を行った地域コミュニティの数10以上を目指す。 A:15 B:13 C:11 D:9 E:9未満	A	地域ビジネス科の担当者を中心となり、76の地域コミュニティとの連携を深めるとともに、生徒は地域と連携した活動を積極的にに行った。	地域ビジネス科以外でも様々な地域課題解決に向け、地域の方々や連携しながら教育活動を行う。
	地域イベントに主体的に参加した生徒の延べ人数100人以上を目指す。 A:150人 B:130人 C:110人 D:90人 E:90人未満	A	各種地域イベントには、延べ人数186名の生徒が参加した。生徒はコロナ禍の制限があった学校生活の中で、地域行事等に積極的に参加した。	全校生徒が各種イベントに参加できる機会を確保し、より多くの地域イベントに参加できるよう配慮する。	

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

学習指導	教科指導の充実	授業の内容がよく理解できる生徒85%以上を目指す。 A:85% B:80% C:70% D:60% E:60%未満	A	教員はわかる授業の実践を心がけ、日々指導方法を工夫しており、87%の生徒が授業の内容がよく理解できると回答している。	授業やホームルーム活動、学校行事等においてもICT機器の活用が更に進んでいる。今後も情報教育課を中心に研修を充実させることで、さらに学習活動を充実させる。
		授業に積極的に取り組む生徒90%以上を目指す。 A:90% B:85% C:80% D:75% E:75%未満	A	90%の生徒が授業に積極的に取り組んでいると回答しており、充実した授業が展開できている。	生徒が主体的、対話的で深い学びにつながるよう教員の研修を充実させ、更に興味関心が持てる授業実践を行う。
進路指導	進路指導の充実	各種資格取得・検定合格者の増加を目指す。	B	数値目標を下回った検定が多かったが、ほぼ昨年度と同じような合格者となっている。全商検定試験1級3種目以上合格者は、212名であった。	検定試験は、進路実現や自己啓発に役立つことを理解させ、積極的な資格取得を進めていく。
		進学・就職において希望する進路実現100%、地元企業への就職率90%以上を目指す。 A:100%,90% B:95%,85% C:90%,80% D:85%,75% E:85%未満,75%未満	A	就職は、内定率100%を達成した。地元企業への就職率も100%であり、地域社会を支える人材の育成ができた。進学についても、国公立大学の合格者が27名(2/14現在)と昨年度と同等の合格者を出したほか、私立大学等、概ね希望する進路実現ができた。	今後も学力の向上を目指すとともに、キャリア教育の充実を図りたい。また、進学の分野においては、全国の大学に視野を広げ、生徒一人一人に対応した進路指導に努める。
		卒業1年後の就職先への定着率90%以上を目指す。 A:90% B:85% C:80% D:75% E:75%未満	A	令和3年度末卒業生のうち44名が学校斡旋で就職したが、43名(97.7%)は就職先に定着している。	今後もキャリア教育を充実させ、適切な進路指導を進めていく。
業務改善	適切な勤務時間	業務の効率化や休暇を取りやすい環境作りを進め、勤務時間の適正化を図る。	C	休暇を気軽に取ることができる環境は整備されつつあるが、業務量に偏りがあり、勤務時間が多い教員がいる。	校内人事や各部署の役割分担においては、教職員全員で学校を運営するという考えのもと、業務量の平準化を図る。
	職場環境の整備	健康相談、衛生委員会、管理職による面談等を通じて、教職員の心身の健康に努める。	B	心身の健康に関する相談をしやすい環境は整備されつつあるが、体調を崩す教職員が出た。	心身に変調をきたさないためにも、適材適所の役割分担と休暇が取りやすい職場環境を整備する。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。